

# 6月定例会 一般質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信をしていますので、ご覧ください。

## 公明党 藤浪 清司 議員

### 災害時要援護者支援について

(質問) 災害時要援護者に対しては、「一人の犠牲者も出さない」との強い思いと、そのための取組みが必要である。要援護者の避難及び避難生活などの支援について尋ねる。

(答弁) 要援護者台帳に登録した障がい者のうち、希望する方に対して安否確認などを行う「安心生活

応援事業」の中で、「模擬避難」の取組みや、一緒に避難経路を地図に落とし込む作業を進めている。災害に備えて準備しておくことなど、障がい種別にまとめた小冊子を8月を目途に作成し、災害発生時における避難行動への補助、避難生活における周囲の理解や援助などに繋げていきたい。知的障がいの方などには、絵や図形を使用し、基本的な内容の事柄を伝えるための「コミュニケーションボード」を作成する。今後、通所の介護事業所等、福祉避難所の拡大にも努めたい。

## すすか倶楽部 鈴木 純 議員

### 「確かな学力づくり」について

(質問) 鈴鹿市は全国学力テストで全国平均を上回る学校数の割合を、平成27年度までに100%を目標としているが、この間の実績は。学力向上には授業改善と家庭学習の充実が不可欠であり、そのためには職員室のICT化が急務。教職員のパソコン1人1台配備や校務支援ソフトの導入が遅れているが、どう

改善するか。また低学力の危機感を共有し、改善に向けて協力・連携するためには学力調査結果の公表が必要と思うがどう考えるか。

(答弁) 全国平均を上回る学校数の割合は、平成24年度で15%、平成25年度で18%。パソコンは児童生徒が使用していたものを校務用として職員室に配置し、教職員が円滑に校務を行えるよう進める。教育委員会による学校別数値の公表については、調査の目的などから今までどおりの公表としたい。

その他の質問 ○人事異動について

## 無所属 森 雅之 議員

### 鈴鹿市の教育について

(質問) 鈴鹿市の非常に遅れている教育のICT化にむけた環境整備の今後予定は。

(答弁) 国においては第2期教育振興基本計画で水準がしめされており、その水準をしっかり意識しながら達成するため、本市の中で計画的なものに位置づけられるよう、総合計画また実施計画、それらの中で位

置づけられるように教育委員会としては努めていきたい。※第2期教育振興基本計画で目標とされている水準(2013年6月閣議決定)

児童生徒用PC

- ①コンピュータ室40台
- ②各普通教室1台、特別教室用6台
- ③設置場所を限定しない可動式PC40台

電子黒板の整備:全ての普通教室1台

高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%

校務用PC:教員1人1台

## すすか倶楽部 中西 大輔 議員

### まちの高齢化への対応について

(質問) 人・モノ・システム、それらをまとめた「まちの高齢化」について、市はどのように認識しているか。次期総合計画、都市マスタープラン見直しにしっかり位置づけるべきでは。

(答弁) 人口減少局面で、税収をはじめ社会全体の規模が縮小する中で、都市機能を維持し、市民

生活の質を確保する必要がある。

個別課題について、地域包括ケアシステムの構築、公共施設マネジメント、道路の予防保全型計画策定、橋りょう長寿命化、水道老朽管更新基本計画、下水道長寿命化などに取り組む。住民自治についても担い手の高齢化や不足など影響は大きい。

新たな中・長期計画では社会の高齢化からくる影響を予測し、策定する必要があると認識。都市マスタープラン見直しにおいても重要な課題と認識している。

その他の質問 ○観光政策について